

平成25年5月16日  
於  
府中市立教育センター

平成25年第5回

府中市教育委員会定例会会議録

府中市教育委員会

平成25年第5回府中市教育委員会定例会会議録

- 1 開 会 平成25年5月16日(木)  
午後3時00分  
閉 会 平成25年5月16日(木)  
午後3時49分
- 2 会議録署名員  
委 員 村 越 ひろみ  
委 員 松 本 良 幸
- 3 出席委員  
委員長 崎 山 弘 委員長職務代理者 齋 藤 裕 吉  
委 員 村 越 ひろみ 委 員 松 本 良 幸  
教育長 浅 沼 昭 夫
- 4 欠席委員  
な し
- 5 出席説明員  
教育部長 今 永 昇 文化スポーツ部長 後 藤 廣 史  
教育部副参事兼指導室長 文化振興課長 酒 井 利 彦  
三田村 裕 ふるさと文化財課長 江 口 桂  
総務課長補佐 北 村 均 ふるさと文化財課長補佐 黒 沢 明 美  
学務保健課長 中 村 孝 一 生涯学習スポーツ課長 矢ヶ崎 幸 夫  
給食担当主幹 須 恵 正 之 生涯学習スポーツ課長補佐兼スポーツ推進計画担当副主幹  
指導室長補佐 古 塩 智 之 古 田 実  
相談担当副主幹 阿 部 憲 靖 美術館副館長 山 村 仁 志  
統括指導主事 瀧 島 和 則  
指導主事 大 津 嘉 則  
指導主事 山 本 勝 敏  
指導主事 三 田 暢 夫
- 6 教育委員会事務局出席者  
総務課係長 熊 坂 奈 美  
総務課事務職員 山 田 大 輔

## 議 事 日 程

第1 会議録署名員選定について

第2 会期決定について

第3 議案

第24号議案

臨時代理による処理の承認を求めることについて  
(府中市立学校副校長の任命について)

第25号議案

平成25・26年度府中市スポーツ推進委員候補者について

第5 報告・連絡

- (1) 生涯学習センターの臨時休館について
- (2) 2013ボールふれあいフェスタの開催について
- (3) 第24回市民スポーツ・レクリエーションフェスティバルの開催について
- (4) 企画展「近代洋画にみる夢 河野保雄コレクションの全貌」の開催について
- (5) 遺跡発掘調査現地説明会について
- (6) ふるさと府中の古代史講座 第1回「発掘が語る古代都市武蔵国府」について
- (7) 「ロシア チェリャビンスク隕石 特別公開」について
- (8) 郷土の森博物館「あじさいまつり」について

第6 その他

第7 教育委員報告

午後3時00分開会

○委員長（崎山 弘君） ただいまより、平成25年第5回府中市教育委員会定例会を開会いたします。

\_\_\_\_\_ ◇ \_\_\_\_\_

○委員長（崎山 弘君） 本日の会議録署名員は、村越委員と松本委員にお願いいたします。

\_\_\_\_\_ ◇ \_\_\_\_\_

○委員長（崎山 弘君） 会期は本日1日といたします。

\_\_\_\_\_ ◇ \_\_\_\_\_

◎傍聴許可

○委員長（崎山 弘君） 傍聴希望者がおりますので、許可してよろしいでしょうか。傍聴の方に申し上げます。本日の第24号議案及び第25号議案につきましては、資料に個人情報等の記載がありますので、資料の配布を省略させていただいております。皆様には議案のかがみのみでお配りしておりますことを、ご承知おきください。

（「はい」の声あり）

\_\_\_\_\_ ◇ \_\_\_\_\_

◎第24号議案 臨時代理による処理の承認を求めることについて

○委員長（崎山 弘君） それでは、第24号議案の審議に入ります。

第24号議案の朗読をお願いします。

（事務局朗読）

○委員長（崎山 弘君） 説明をお願いいたします。

○指導室長補佐（古塩 智之君） それでは、第24号議案 臨時代理による処理の承認を求めらるることにつきましてご説明させていただきます。

府中市立府中第二小学校におきましては、平成25年4月7日現在の学級数が30学級となりまして、平成25年度東京都公立小学校教職員定数配当一般方針に基づき、副校長の定数が2名となるため、新たに1名の副校長が配置されるものでございます。

氏名につきましては、堀誠一。もとの学校につきましては、町田市立成瀬台小学校から異動という形となっております。

以上でございます。

○委員長（崎山 弘君） 事務局の説明が終わりました。何かご質問はございますでしょうか。ご意見ございますでしょうか。

（発言する者なし）

○委員長（崎山 弘君） ないようですね。

お諮りいたします。

第24号議案 臨時代理による処理の承認を求めらるることについて、決定することにご異議ございませんでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○委員長（崎山 弘君） 全員異議なしですので、原案どおり決定いたします。

\_\_\_\_\_ ◇ \_\_\_\_\_

◎第25号議案 平成25・26年度府中市スポーツ推進委員候補者について

○委員長(崎山 弘君) 続いて、第25号議案の審議に入ります。

第25号議案の朗読をお願いいたします。

(事務局朗読)

○委員長(崎山 弘君) 説明をお願いいたします。

○生涯学習スポーツ課長補佐(古田 実君) それでは、第25号議案 平成25・26年度府中市スポーツ推進委員候補者について、生涯学習スポーツ課よりご説明申し上げます。

スポーツ推進委員は、府中市教育委員会規則第2号、府中市スポーツ推進委員に関する規則に基づく非常勤特別職として教育委員会が委嘱するものでございます。市民のスポーツ活動の振興、推進を目的とした事業の連絡調整、スポーツの普及啓発活動、スポーツに関する指導、助言や協力を職務といたします。定数は25人以内となっております。現在、16人、記載の2名の方が就任されて合計18名となります。

なお、任期は今期の残任期間であります平成25年6月1日から平成27年3月31日までがその期間となります。

以上で説明を終わります。ご審議のほど、よろしくお願い申し上げます。

○委員長(崎山 弘君) 事務局の説明が終わりました。何かご質問ございますでしょうか。

何かご意見ございますか。

(発言する者なし)

○委員長(崎山 弘君) では、お諮りいたします。

第25号議案 平成25・26年度府中市スポーツ推進委員候補者について、決定することにご異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○委員長(崎山 弘君) 全員異議なしですので、原案どおり決定いたします。



◎報告・連絡(1)生涯学習センターの臨時休館について

○委員長(崎山 弘君) 続きまして、報告・連絡に移ります。

報告・連絡の(1)について、生涯学習スポーツ課、お願いいたします。

○生涯学習スポーツ課長補佐(古田 実君) それでは、報告・連絡事項(1)生涯学習センターの臨時休館につきまして、別紙資料1によりご報告申し上げます。

1の趣旨でございますが、消防法に基づき6カ月に1回の消防設備点検が義務づけられております。当該点検を実施するには2日間の期間を要することから、現在、毎月第1月曜日である定例休館日のみでは対応が困難であるため、臨時休館日を設定し点検を行うものでございます。

次に、2の臨時休館日でございますが、学習センター内に設置されている図書館の休館日も考慮の上、第1回目を平成25年10月16日水曜日、17日木曜日、第2回目を平成26年3月19日水曜日、20日の木曜日とさせていただく予定でございます。

なお、本件につきましては、ご利用者の皆様にご迷惑をおかけしないよう、事前に広報ふち

ゅう及び市ホームページ、学習センターホームページにおいて広く市民に周知してまいります。

以上で説明を終わらせていただきます。よろしくお願いいたします。

○委員長(崎山 弘君) ただいまの報告につきまして何かご質問、ご意見ございますでしょうか。

(発言する者なし)

○委員長(崎山 弘君) では、報告・連絡の(1)について、了承いたします。

◇  
◎報告・連絡(2) 2013ボールふれあいフェスタの開催について

○委員長(崎山 弘君) 続きまして、報告・連絡(2)について、生涯学習スポーツ課、お願いいたします。

○生涯学習スポーツ課長補佐(古田 実君) 2013ボールふれあいフェスタの開催について、お手元の資料、別紙2により報告いたします。

毎年2,000人近くの児童・生徒のご参加をいただき大好評を得ているボールふれあいフェスタを、6月16日に総合体育館において行います。10時30分から開催されます開会式を終了後、総合体育館並びに郷土の森総合サッカー場において、それぞれの種目に分かれてイベントを開催するものでございます。

本事業は、府中市を活動拠点とするラグビーの東芝ブレイブルーパス、サントリーサンゴリアス、バスケットボールのトヨタ自動車アルバルク東京、サッカー及びバレーボールのFC東京、フットサルの府中アスレティックフットボールクラブという6つのトップチームと市内の関係団体の協力のもと、子どもたちに日本のトップレベルのスポーツの選手と触れ合うことで、スポーツが本来持つ楽しさを体験してもらうことを目的として実施いたします。

第10回目となる今年度は、各競技のミニゲームや体験コーナーなどの催し物のほか、今年9月に開催されるスポーツ祭東京2013の啓発イベントも同時に当日開催いたします。

市内を活動拠点としているトップチームが数多くある府中市ならではの事業でございます。子どもたちにとっては、一流スポーツ選手とじかに触れ合うことができる大変貴重な機会となっております。

後日、委員の皆様にもご案内状をご送付させていただきますので、お時間の許す限り、ご来場いただき、日本トップレベルのスポーツ選手と子どもたちが触れ合い、楽しんでいる姿をご覧いただければ幸いと存じます。

以上でございます。

○委員長(崎山 弘君) 今回の報告(2)につきまして、何かご質問、ご意見ございますでしょうか。

村越委員、どうぞ。

○委員(村越ひろみ君) この種目がたくさんありますが、会場の内訳みたいなものは、後で詳細はいただけるのかと思いますけれども、ざっとわかれば教えていただければと思います。

○生涯学習スポーツ課長補佐(古田 実君) 会場の内訳ということでございますが、まず、総合体育館の第1体育室、一番広い体育室、そちらにはバスケットボール、あとバレーボール、この2種目を開催いたします。そして、隣の第2体育室、こちらで、サッカー競技ですので、

フットサル、FC東京の選手が来るか、ちょっと今調整中ですが、さらに、外の郷土の森サッカー場、こちらにおいて、ラグビーエリアということで、東芝さんやサントリーさん、そういったような形で会場を活用します。

以上でございます。

○委員（村越ひろみ君） ありがとうございます。

もう一つ、人数制限とかもするのでしょうか。

○生涯学習スポーツ課長補佐（古田 実君） 当日は、各、例えば体育室においてもオープンにしておりますから、出入りは自由ということでございますので、それは大丈夫でございます。以上です。

○委員長（崎山 弘君） ほかに何かご質問、ご意見ございますでしょうか。

これらのトップチームですと、本当に試合の日程とかも多分あると思うので、確かにトップ選手が必ずしもそろわないかもしれませんが、それでも、かかわっている方がこうやって府中市のために頑張ってくださいるのは非常にありがたいことだと思いますので、よろしく願いいたします。

ほかに何かご意見、ご質問ございますでしょうか。

（発言する者なし）

○委員長（崎山 弘君） では、報告・連絡の（2）について、了承いたします。

\_\_\_\_\_ ◇ \_\_\_\_\_

◎報告・連絡（3）第24回市民スポーツ・レクリエーションフェスティバルの開催について

○委員長（崎山 弘君） 続きまして、報告・連絡（3）について、同じく生涯学習スポーツ課、お願いいたします。

○生涯学習スポーツ課長補佐（古田 実君） 続きまして、第24回市民スポーツ・レクリエーションフェスティバルについて、お手元の資料、別紙資料3によりご報告いたします。

本事業は、広く市民の間にスポーツ・レクリエーション活動を実践する場を提供し、市民一人一人が、その活動の振興に貢献することを目的として開催しており、今年で24回目を迎えます。

6月30日日曜日に郷土の森総合体育館において、午前10時より総合開会式を行い、開会式終了後、市民団体による新体操や太極拳などの演技種目の発表が行われます。さらに、14の競技種目を1カ月余りにわたって実施し、その多くが小中学生も参加できるものとなっております。

先ほどのボールふれあいフェスタと同様、後日、委員の皆様にご案内状をご送付させていただきたいと思っております。お時間が許す限り、ご来場いただければ幸いです。

以上でございます。

○委員長（崎山 弘君） ただいまの報告につきまして、何かご質問、ご意見ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

一番下の注意書きのところに、「参議院議員選挙の影響により、日程は変更になる可能性」、これは、開票の会場に使われる場合ということを想定されているのでしょうか。

○生涯学習スポーツ課長補佐（古田 実君） この表記につきましては、準備段階において、

まだ具体的な日程等というものがわからない状態でしたので、そういった形でこの表記にさせていただいたところがございます。

以上でございます。

○委員長(崎山 弘君) ほかに何かご質問、ご意見ございますでしょうか。

(発言する者なし)

○委員長(崎山 弘君) それでは、報告・連絡の(3)について、了承いたします。



◎報告・連絡(4) 企画展「近代洋画にみる夢 河野保雄コレクションの全貌」の開催について

○委員長(崎山 弘君) 続いて、報告・連絡の(4)について、美術館、お願いいたします。

○美術館副館長(山村仁志君) それでは、美術館から、お手元の別紙資料4によりまして、次回展覧会につきましてご報告いたします。

5月25日土曜日から6月30日日曜日まで、企画展「近代洋画にみる夢 河野保雄コレクションの全貌」を開催いたします。

チラシをお開きください。

府中市美術館では、開館前、平成7年に福島市の個人コレクター河野保雄氏から約200点の作品を譲り受けました。この全国に知られた河野コレクションは、当館所蔵品の根幹をなしております。わかりやすく、平明でありながら、深い味わいと音楽的な響きをたたえた近代絵画の名品たちです。府中市と同じく多くの河野コレクションを所蔵する福島県立美術館との共同企画により、河野コレクションの全貌を紹介いたします。亜欧堂田善、青木繁、岸田劉生、村山槐多、長谷川利行、松本竣介など、近代洋画のきら星のごとき有名画家たちの油彩画、版画、ガラス絵など総計約250点を展示いたします。

また、関連企画としまして、講演会、ミニレクチャー、ワークショップ「ごつごつ絵を描こう」「音のえのぐ」などを開催いたします。

既に広報ふちゅう、ホームページ等で掲載しておりますが、各文化施設、文化センター、その他、各小中学校にチラシ・ポスターを配布し、広く広報してまいります。

以上でございます。

○委員長(崎山 弘君) ただいまの報告につきまして、何かご質問、ご意見ございますでしょうか。

齋藤委員、どうぞ。

○委員(齋藤裕吉君) 入館料と観覧料なのですけれども、割引制度のようなものはあるのでしょうか。というのは、この間の「かわいい江戸絵画展」で、あるカードを出したら割引と言われたのですけれども、私も今まで招待状などでばかり入っていることが多かったので、きちんとした認識を持っておかななくてはいけないと思ったものですから、教えてください。

○美術館副館長(山村仁志君) 一般に展覧会は、20名以上は団体割引ということで8割で入れるようになっています。それ以外に、もちろん府中市の小中学生については、学びのパスポートという形で無料で入れます。

「かわいい江戸絵画展」のときには、前期、後期で作品をがらっと入れかえたものですから、前期に来ていただいた方は後期を半額という特別な割引があったのですが、今回は、そこまで

全部かえるということはありませんので、そのような前・後期での割引はございません。

それで、メンバーシップという制度がございまして、これは、年間2,500円を払っていただければ何度でも無料でご覧いただけるというパスポートの制度がございまして、そういう割引もございまして。

以上です。

○委員長(崎山 弘君) よろしいですか。

○委員(齋藤裕吉君) 民間のパスポートというものがありますよね、それとの関係というのは何かあるのですか。

○美術館副館長(山村仁志君) 京王パスポートを持っていらっしゃる方につきましては、京王さんのほうと美術館とで覚書を交わしております、団体扱いにするということで、そのかわり、京王さんのほうでは広報的にご協力いただくという形でやっております。

○委員長(崎山 弘君) よろしいですか。

○委員(齋藤裕吉君) よくわかりました。

○委員長(崎山 弘君) ほかに、報告・連絡の(4)について、ご質問、ご意見ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

(発言する者なし)

○委員長(崎山 弘君) それでは、報告・連絡の(4)について、了承いたします。



◎報告・連絡(5) 遺跡発掘調査現地説明会について

(6) ふるさと府中の古代史講座

第1回「発掘が語る古代都市武蔵国府」について

○委員長(崎山 弘君) 続きまして、報告・連絡の(5)、(6)について、まとめて、ふるさと文化財課、お願いいたします。

○ふるさと文化財課長補佐(黒沢明美君) 報告事項の(5)、(6)の2件をまとめてご報告いたします。

(5)の遺跡発掘調査現地説明会につきまして、資料5に基づいてご報告いたします。

現在、JR南武線西府駅北口ロータリー北側で建築工事に伴う発掘調査が行われておりますが、この周辺には鎌倉・室町時代の大規模な区画溝がめぐらされており、区画溝に珍しい張り出し部が見られ、溝の用途を考える上で重要な資料でございます。

なお、この区画溝は、この一体で発掘された屋敷跡を囲むものとしては最大級のものでございます。また、このほかに縄文時代の堅穴建物跡や落とし穴なども見つかっております。

今回の現地説明会は、事業主の方のご理解とご協力により現地での説明会が実現したもので、この機会で見られない貴重な遺跡の発掘調査現場を見ていただくものでございます。

日時は、5月18日土曜日、午前10時から午後4時。雨天の場合は、翌日の19日に順延します。なお、事前の申し込みはございません。

続きまして、(6)のふるさと府中の古代史講座、第1回「発掘が語る古代都市武蔵国府」について、資料6に基づきご報告いたします。

ふるさと府中の古代史講座は、長年に及ぶ市民の皆様のご理解とご協力によって行われてま

いりました発掘調査の成果をもとに、年間8回にわたり、旧石器時代から平安時代までを、時代ごとに、さまざまな角度から、市の学芸員及び古代武蔵国の万葉集の研究をされており、府中歴史館ガイドスタッフで活動されている方を講師として開設するものでございます。

第1回目は、1,300年前、令制国の首都として武蔵国の国府が置かれていた府中市について、これまでの発掘成果をもとに、「発掘が語る古代都市武蔵国府」をテーマに講座を開催いたします。

日程は、6月9日日曜日、午後2時から、ふるさと歴史館3階会議室で行います。

以上でございます。

○委員長(崎山 弘君) ただいまの報告につきまして、何かご質問、ご意見ございますでしょうか。

齋藤委員。

○委員(齋藤裕吉君) 西府駅北口ロータリー付近の遺跡のことで、縄文時代の竪穴建物跡とか落とし穴などが見つかっていますというふうな説明ですけれども、もうそういう判定というか歴史的な判断が正式におりたというようなものであるのでしょうか。

というのは、似たような穴を近くで見たことがありまして、五小のあそこのプールの通りを掘っていったときに、この穴はなんだろうというふうなあのときの話があったものですから、その辺までわかってきたのかなと。もしわかれば、お話しください。

○ふるさと文化財課長(江口 桂君) 第五小学校のプールの建設の現地説明会で大変お世話になりました。

第五小学校のプールと同じような形で、西府駅周辺には、縄文時代の主に中期という時代の集落が広がってございます。今回の発掘調査では、既にそこから縄文時代の土器が出土しておりまして、その土器の編年観からこの年代も一応わかっておりまして、竪穴建物であることもわかっております。

また、落とし穴につきましては、木製の杭の跡は残念ながら腐ってしまうのですが、その杭を差し込んだであろう穴が見つかりまして、つまり、そこに杭を差して、そこにイノシシなどが落ちこちてくるのを捕獲するための杭を差し込んだ穴も見つかっていますので、一応落とし穴ということの判定のほうは出ているというところで、今回このような形で発表させていただくものでございます。

以上でございます。

○委員(齋藤裕吉君) ありがとうございます。

○委員長(崎山 弘君) ほかにご意見、ご質問ございますでしょうか。よろしいでしょうか。  
(発言する者なし)

○委員長(崎山 弘君) では、報告・連絡の(5)、(6)について、了承いたします。

————— ◇ —————  
◎報告・連絡(7)「ロシア チェリャビンスク隕石 特別公開」について  
(8)郷土の森博物館「あじさいまつり」について

○委員長(崎山 弘君) 続きまして、報告・連絡の(7)、(8)について、ふるさと文化財課、お願いいたします。

○ふるさと文化財課長補佐（黒沢明美君） 郷土の森博物館で行われる催し物について、2件まとめて報告いたします。

まず、(7)の「ロシア チェリャビンスク隕石 特別公開」について、資料7をご覧ください。

今年の2月15日に、ロシアで隕石が落ち、その際の衝撃波で約1,500人が負傷し、約5,000棟もの建物が被害を受けた世界中で話題になりましたチェリャビンスク隕石を、郷土の森博物館本館2階企画展示室のロビーで9月1日まで特別公開をしております。国内でも2番目、首都圏では初の公開となります。この機会に小中学校にもPRをさせていただきまして、多くの方にご覧いただきたいと存じます。

続きまして、(8)の郷土の森博物館「あじさいまつり」につきまして、資料8のチラシに基づいてご報告いたします。

郷土の森博物館の園内では、四季折々の花が楽しめ、6月初めには西洋アジサイ、ガクアジサイなど約30種、1万株のアジサイが咲き出し、6月中旬には見ごろを迎えます。博物館には、市内から移築復元された古い建物が8棟あり、アジサイの花越しに見える大正時代の町役場、江戸時代のカヤぶき屋根の農家などが独特の風情を演出します。

今年の郷土の森あじさいまつりの会期は、6月8日土曜日から7月7日日曜日まで、期間中6月16日、30日の2回、あじさい工房「あじさいのかざりを作ろう」で、アジサイのステンシル、押し花などアジサイにちなんだオリジナルの飾りをつくるイベントや、あじさいまつり期間限定のあじさい餅と抹茶が楽しめるお茶室を利用した呈茶も開催されます。

なお、チラシに記載されておりませんが、アジサイの鉢の販売も予定しております。

以上でございます。

○委員長（崎山 弘君） ただいまの報告・連絡(7)、(8)につきまして、何かご質問、ご意見ございますでしょうか。

齋藤委員。

○委員（齋藤裕吉君） 1つだけ。隕石の展示ということで、ああ、そういうものかというようなことで、おもしろそうなのですけれども、このプリントでいただいた説明、写真を見ると、もちろん読めないのですが、小中学校に宣伝していただいて、子どもたちが来た場合に、解説等を読めるような状態で示していただけるのかどうか、ちょっとその辺の予定、計画などございましたら、教えてください。

○ふるさと文化財課長（江口 桂君） 今の点につきましては、来月の校長会で、この隕石の展示につきましてご報告をさせていただきまして、お借りしたところのお話では、さわってみても大丈夫ということで承っておりますので、6点のうち1点、直径が3センチぐらいの大きさのものがございますので、できましたら、今後、夏休みに子どもたち向けの特別公開の日を設定いたしまして、そこで市内の児童・生徒の皆さんに、申し込み制等をちょっと検討しておりますけれども、じかに子どもたちにさわっていただくような機会をぜひ博物館の方でもつくりたいということで、今検討しているところでございます。

また、通常の学校団体等の見学、また、子どもたちが見たいというときには、適時、博物館の職員のほうが解説等を担当させていただき予定でございます。

以上でございます。

○委員（齋藤裕吉君） 説明板とか、そういう文字説明などは何か予定されていますか。

○ふるさと文化財課長（江口 桂君） この2ページ目の写真には写っていないのですが、この展示しておりますすぐ左隣に解説パネルが3枚ございまして、そちらでこちらの説明をしております。

○委員長（崎山 弘君） よろしいですか。

○委員（齋藤裕吉君） 私が質問させていただいた趣旨は、小学生とか好奇心の強い子どもたちに、わかりやすい説明がなされておればよいなという気持ちでお聞きした次第ですので、準備されるときに、ルビその他を使っていただくとか、難しい言葉を少し平易な言葉に置きかえていただくとかしていただくと、大変いいのかなという気持ちでお聞きしました。

○委員長（崎山 弘君） ほかにご意見、ご質問ございますでしょうか。

確かに、隕石にさわるといのは非常におもしろい機会だと思うのですが、アメリカの Smithsonian 博物館でも、月の石にさわるといっているのですね。ただ、絶対盗まれないというか、もう指を入れるようなスペースがあって、こうやってさわるとい形をとっているんです。やはり借りるものですから、何か割れて壊れたりとか、質量が落ちて、減っては困ると思うので、さわるといには、確かに何かに固定しておいてそこにさわるとか、あるいは、よく隕石かどうかの判別に、大抵鉄を含むので磁石でくっつくとか、そういう話もわかるので、何か磁石でくっつくとか、そういう実験的なものももし当日できたら、その行った子どもにとって、「隕石は磁石でくっつくんだ」とか、そういうものがわかっておもしろいかなと、思いつきですけれども、ちょっと感じました。皆さんも何かいろいろ考えてみてください。

ほかに何かご質問、ご意見ございますでしょうか。よろしいですか。

（発言する者なし）

○委員長（崎山 弘君） では、報告・連絡の（7）、（8）について、了承いたします。



◎その他

○委員長（崎山 弘君） 報告・連絡まで終わりました。

その他ですが、何かございますでしょうか。ございませんか。

（発言する者なし）



◎教員委員報告

○委員長（崎山 弘君） では、教育委員報告に移ります。

各委員からの報告をお願いいたします。

○委員（齋藤裕吉君） それでは、齋藤より報告をさせていただきます。

前回の定例教育委員会以降ということで申し上げます。

4月26日金曜日ですけれども、小中学校長歓送迎会に出席いたしました。これまでご努力された先生方への感謝の気持ちをあらわしました。

5月2日木曜日、東京都市町村教育委員会連合会の第1回理事会に出席いたしました。東京自治会館で行われました。内容は、5月23日に行われます第57回の定期総会に提案する事

業報告、その他の案件についての審議ということでございました。

それから、5月3日金曜日ですけれども、府中市美術館を参観いたしました。「かわいい江戸絵画展」ということで、もうそろそろ終わりの時期の参観だったわけですけれども、連休の真ん中ということもありまして家族連れの方が大変多くて盛況でございました。展示作品は、タイトルのとおり、本当に江戸期のかわいい、あるいはおもしろい絵画を中心としたもので、動物とか子どもなどをかわいいと思う心情というのは、確かに時代を超えて人間共通のものだというようなことを思いながら参観させていただきました。また、参観者のお土産として、しおりとか絵はがきを手づくりでできるというコーナーもあって、大人も子どもも楽しそうに制作している様子が見られました。いろいろと企画が工夫されていて大変すばらしい展覧会だったなというように感心いたしました。

5月8日水曜日、第52回の府中市立小中学校教育研究会の定期総会に出席いたしまして、府中市教育委員会としての挨拶を申し述べてまいりました。府中市学校教育プラン21の中の、特に小中一貫教育の推進にかかわって、府教研の果たす役割というもの大きいと思います。カリキュラムの連続性の検討など、今後の研究の取り組みの成果が期待されるところでございます。また、規約改正も行われておりまして、府教研の活動の様子も少し今後変化しそうだというような総会でございます。

私のほうからは以上です。

○委員（松本良幸君） それでは、松本よりご報告させていただきます。

まず、5月8日、どりーむホールで開催されました第52回府教研定期総会に出席してまいりました。府教研の研究発表には参加したことがありますが、総会は初めてでしたので、日ごろ先生方が多くの教育研究や児童・生徒のために文化祭行事を企画してくださっていることを知ることができました。講演会では、三田村指導室長による「府中市の教育施策について」と題したお話を聞き、小中連携による一貫教育、府中版コミュニティスクールを初め、府中市が取り組む教育施策について画像を交えてわかりやすく解説していただきました。その中で身近な話として、学校と地域、家庭との協働については、管理職だけではなく、先生方の参加が重要であるとお話がありました。先生の多忙化が顕著になる中、難しいことかもしれませんが、トップダウンの押しつけにならず、自然に先生方が参加する気持ちになれるよう、私たち保護者や地域の人たちも、お互いに尊敬し合える関係を築いていくべきであると感じました。先生が終わりに示してくださった何もない被災地で初めに復興された学校の写真が、学校は単に勉強を教えるためだけの場所ではないということを物語っていたと思います。

次に、管轄が違うと思えますけれども、昨日の15日は十地区青少対の第1回委員会に出席してまいりました。青少対は中学校を中心に学区内の小学校及びPTAに加え、地域の民生委員やボランティアの方たちに支えられ、お祭りイベントや地域音楽会、夜間パトロールなどを通じて、子どもたちの健全育成に協力いただいております。特に、自分の子どもが学校を卒業した後も委員として地域の子どものためにご努力いただいている方々には、尊敬はもとより、保護者の一人として心から感謝申し上げたいと思いました。

終わりに、小学校の警備員さんに聞いたお話を1つお伝えしたいと思います。

5月7日に農園指導のために本宿小学校に伺った際、警備員の方とお話する機会がありました。その際、警備員さんが、昨年度末に行われた卒業を祝う会に招待され、卒業生からお礼

の手紙を手渡され、涙が出るほどうれしかったというお話をしてくれました。仕事に参加してよいものかと迷ったけれども、校長先生のご理解と事務室の方々との連携で出席することができたそうです。このような会への招待は、勤務8年目にして初めてのことだったそうです。用務員さんや警備員さん、給食配膳員さんらは、式典等では裏方に回ることが多いと思いますが、今回のように、児童・生徒からの感謝を伝える行事などでは、ふだん目立たない方々への気配りや配慮をぜひともしていただきたいと思います。たとえ仕事として行っている行為であったとしても、自分たちへの思いやりを感じたなら、感謝の気持ちを形や行動にしてあらわすことは、当たり前であるし、素晴らしいことです。褒めて育つのは子どもだけではないと思います。大人だって激励や感謝の言葉をいただければ実力以上に頑張れるのではないのでしょうか。

以上で報告を終わります。

○委員（村越ひろみ君） 村越から報告させていただきます。

4月26日金曜日、市内の校長先生の歓送迎会に参加しました。他市へ異動された先生方には、府中市のよさを伝えていただきつつ、今後のご活躍を願いたいと思いました。また、新たに府中市の学校の校長先生に着任された先生方には、ぜひとも府中の子どもたちのためにご尽力いただけたらと思いました。

5月2日木曜日、憲法講演会に参加させていただきました。「スポーツと法、スポーツ指導と体罰問題」と題し、明治大学の森本陽美先生を迎えての講演会でした。まず、体罰に対する考え方を体育会関係者である教師や学生の見解ということで調査をされたそうです。その結果というか、詳しくは言いませんけれども、「どこからが体罰なのかわからない」「時と場合によっては許される」というのが大半の意見で、「体罰はよくない」「絶対に許されない」というのは、調査の中では3分の1というお話でした。調査された人数もそう多くはなかったということですが、やはり体罰というのは難しい問題だというお話を伺いました。その後、法律上の体罰と懲戒のとらえ方や体罰には当たらないとされる事例、また、これまでに裁かれた事案などを挙げてお話を伺うことができました。憲法記念日ということもあり、また、今、教育界では重要視されているこの問題を法律の中で示されている見解を知ることができ、大変勉強になりました。

5月3日金曜日、ふるさと府中歴史館で開催された「いにしえを明日に伝える」ということで、綾部好男先生が描かれているくらやみ祭の絵の展示会に伺いました。この日は先生のお話も伺えるということでしたし、綾部先生は、私自身が府中五中時代にお世話になった先生だったので、ぜひお目にかかりたいと思って伺いました。先生の、躍動感あふれる中にも繊細な描写にとっても感動し、先生が、本当にくらやみ祭が大好きで、くらやみ祭への思いの深さを感じました。

5月8日水曜日、府教研定期総会に伺いました。総会が無事終了し、新体制での役員のもと今年度の活動が始まり、府中市の先生方が、さまざまな形で連携して、研究を通子どもたちのためにご尽力されていることに感謝します。また、総会終了後、指導室長である三田村先生の講演会では、小中一貫教育での狙い、また、府中版コミュニティスクールの方向性を伺うことができました。そのお話の中で、「そもそも学校とは」というお話があったのですが、提示された3枚の写真がとても印象的で、これぞ学校だという思いで見えていました。近年、学校で

抱える問題の困難化、先生の多忙化がある中、学校は組織的、計画的、継続的に行われる場として教育の営みは続くものだというお話を聞き、改めて先生方の応援団でありたいと思いました。ありがとうございました。

以上、終わります。

○教育長（浅沼昭夫君） 続いて、浅沼が報告します。

4月22日、府中消防少年団の入卒団・進級式に参列しました。式の後、演技披露がありまして、大人顔負けの実技を見ることができました。小学校1年生から中学校3年生の団員が所属しており、消防訓練や救急救護に加えて、さまざまな活動をしていることがわかりました。異年齢集団が、このように一定の目的のもとで活動することの意義を実感することができました。

4月24日ですが、京王線府中駅の発着メロディーとして村野四郎氏作詞の「ぶんぶんぶん」と野口雨情作詞、中山晋平作曲の「府中小唄」が選定され、記念セレモニーに出席いたしました。現在、駅構内にこれらの曲を解説した掲示板が設置されております。小中学生も、このメロディーを耳にして親しんでもらえたらと思っております。

4月27日、第45回府中市交通安全市民の集いが中央文化センターで開催され、出席しました。交通安全の標語コンクールの入賞者、交通安全の推進に尽力した団体や個人が表彰されました。交通安全功労団体として、学校関係は白糸台小学校、府中第七中学校、府中第八中学校PTAがそれぞれ表彰を受けました。

続いて、4月27日、矢崎町を流れる雑田堀親水路公園が完成し、見学会に参加しました。田畑が広がる府中市の原風景が残る場所に、新たにビオトープが完成しました。近くにある矢崎小学校の児童が清掃活動を継続的に行うなど、自然観察を通して学習に役立つ教材としての楽しみもあります。また、完成までに農工大学が全面的に支援をしていただいたということで、今後も、児童・生徒だけではなくて、先生方のフィールドワークの研修の場として活用できそうです。

続きまして、先ほど村越委員からも報告がありましたけれども、5月2日、生涯学習センターで開催された憲法講演会に出席いたしました。私も同様な感想を持ちまして、現在、社会問題になっているスポーツ指導と体罰について、憲法あるいは教育基本法などを初めとして、文部科学省からの通達、判例などを講義していただきました。懲戒行為が体罰に当たるかどうかは、懲戒の様態等の諸条件を総合的に考え個々の事案ごとに判断する必要があるといったお話の中から、この問題の複雑性について改めて認識を深めることができました。

5月3日、先ほど、これも村越委員から報告がありましたけれども、くらやみ祭絵画展に赴きまして、参観してまいりました。綾部先生が絵の一点一点について解説されましたけれども、くらやみ祭の歴史を学ぶことができました。これは、国府の祭りで始まって、その後の歴史の転換期を経て、神社を中心にした町方と講中、今で言うサポーター組織だそうですが、その講中に支えられて今日に至っているといったお話が、大変興味深く受けとめることができました。

続いて、5月9日木曜日ですが、目黒雅叙園で開催されました関東地区都市教育長協議会に出席しました。総会の後、記念講演がありまして、冬季パラリンピックアルペンスキー金メダリスト、大日方邦子氏による「壁なんて破れるーパラリンピックアスリートからのメッ

セージ」という演題で、交通事故によって障害者となった氏が、どのようにして壁を乗り越え金メダリストになったか、教育にかかわる者への強いメッセージがありました。

それから、5月12日、押立町の多摩川緑地で行われました府中市合同水防訓練を参観いたしました。さまざまな水防工法の演習があり、引き続いて救助訓練を見ることができました。都市での多様な水害対策が求められる中、さまざまな手法で水害を防ぐということについて学びとることができました。

以上であります。

○委員長（崎山 弘君） では、崎山から2点報告いたします。

5月4日、大國魂神社の例大祭の行事の山車行列に武蔵台の山車を引いて参加いたしました。幸い天候にも恵まれ、多くの子どもたちが山車行列に加わり楽しんでおりました。一人一人の名も列挙したいところですが、多くの校長先生、副校長先生、教職員の方々も、それぞれの地区の山車行列にお見かけいたしました。コミュニティスクールという制度を推進するに当たり、連休のさなかであります参加していただけるという、このような先生方の努力が非常に有意義なものだと感じました。

5月9日、東京都医師会館で行われた第1回東京都学校保健連絡会に、市町村の教育委員を兼務している医師として参加してまいりました。東京都医師会理事、東京都教育庁から医師である学校健康推進課長、区市町村教育委員会委員である医師2名などが参加し、学校健診、児童虐待、不登校、いじめ、保護者対応、教職員の健康問題など、多岐にわたる学校保健の課題について意見交換を行い、今後もこの連絡会を継続して実施することとなりました。学校の児童・生徒並びに学校の教職員の心身の健康を維持するために学校保健が十分に機能することが求められておりますが、学校でのアレルギー事故、いじめ、体罰問題などの社会情勢を見ると、個々の対応は別として、全体的に不完全な取り組みがあることは否めないと思います。子どもたちと教職員の健康問題に医師としてどのような支援が求められているのか、どのような支援が可能か、優先的な課題は何かなど、東京都医師会として検討する方向性が出てきたことは非常に望ましいことだと思います。私は小児科医ではありますが、医師の立場というよりも、教育委員会委員として、指導室、教育委員会事務局、学校の教職員がどのようなことを求めているかについて、医学的、医療的な言葉を使って意見を述べてまいりました。

以上です。

では、これもちまして平成25年第5回府中市教育委員会定例会を閉会いたします。

どうもお疲れさまでした。



午後3時49分閉会

以上、会議のてん末を記載してその相違ないことを証  
するため、ここに署名する。

平成25年7月18日

府中市教育委員会委員

村越 ひろみ

府中市教育委員会委員

松本 良幸